

10 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

溶連菌がまれに引き起こす重篤な病状

1 病原体名

溶血性レンサ球菌

2 年齢層

成人を主に全年齢で発症します。

3 潜伏期間

1～7日

4 症状

- ☑ 初期はのどの痛み、発熱、食欲不振、おう吐・下痢、全身けん怠感、低血圧などの敗血症症状、筋痛が見られます。
- ☑ 非常に急激かつ劇的に病状が進行します。発病してから数十時間以内に筋肉が壊死してしまったり、血圧低下や多臓器不全からショック状態に陥って死亡することも少なくありません。

5 診断と治療

- ✓ 症状、血液検査、培養検査等により診断します。
- ✓ 重症化するリスクを下げるため、少しでも早く治療を開始することが重要です。集中治療室で管理されることもあります。
- ✓ 抗菌薬治療や、全身のショックへの治療を行います。
- ✓ 壊死した部分は切除し、感染拡大を防ぎます。

6 どうすれば感染・発症を予防できますか？

- ✓ ワクチンなどの特別な予防法はありません。
- ✓ 口や鼻の粘膜、手足の傷口から溶血性レンサ球菌に感染する場合があるため、傷口を手で触らないなど清潔に保つことが大切です。一方、感染経路が不明な場合も多いです。
- ✓ 感染者の家族は、マスクの着用や手洗い、アルコール手指消毒といった通常の感染対策を行います。

